



2002年8月10日 社団法人 長崎青年協会会報 272号

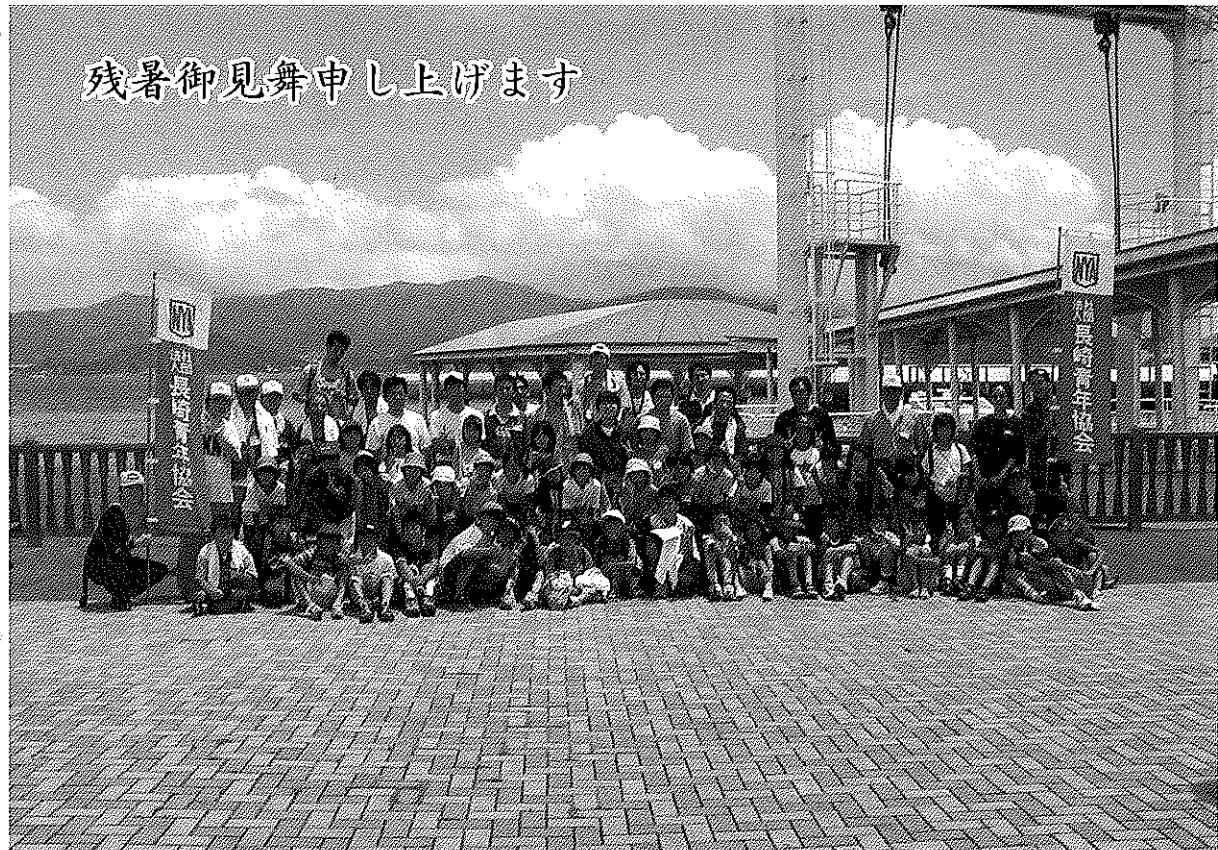
NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団 法人 長崎青年協会

社団法人
長崎青年協会憲章
我々は会員の团结と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もつて地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

スローガン 「スクラム！」

残暑御見舞申し上げます



平成14年度 青少年育成事業「こどもスマイル☆海★伊王島!!」

— 今月の行事予定 —

5日（月）理事会

8日（木）平和の灯

20日（火）理事会

24・25日（土・日）全体研修（ホテル清風）

— 今月度事務局清掃担当委員会

役

員

— 今月の二次懇親会担当委員会

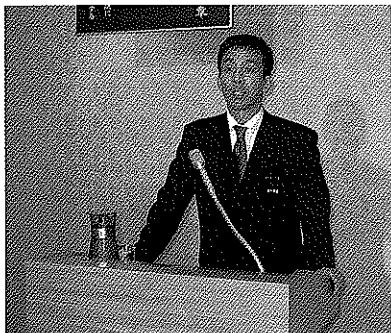
全体研修の為設定なし

2002

8

～出欠の返事は確実にしよう～

●7月度例会●



会長挨拶

暑い夏が続いていますが皆様方いかがお過ごしでしょうか。少し遅めの梅雨明けから、各種事業も着々と実施されました。

7月20日（海の日）、21に行われました「こどもスマイル☆海★伊王島！」では市内の約50名の子供たちの参加のもと、海に関する学習をおこなった後、伊王島での一泊二日の盛りだくさんの体験をしました。星の観測を予定していましたが天候不良の為、教室での学習となりましたが、指導して下さった野田様より「残念でしたが空は逃げませんよ」「それよりも今回参加した大人（協会会員）が子供たちを連れてまた観に行こうという気持ちが大切です」という言葉を頂き、我々はお世話をしにきただけではなく事業に参加した時は何かを感じ取ることが大切だということを教えて頂きました。今回の事業に関してご協力頂きました各種団体様、ありがとうございました。

また、7月27日の「ながさきみなとまつり」では「安全な祭りの場の提供」の為、担当副会長を中心にお協力いただき無事終了することができました。28日の全体清掃も我々の「街に対する想い・・・」である感じます。

そして、戦後57年目を迎えた国際平和都市長崎からの平和の発信「平和の灯」では準備の段階からご協力感謝いたします。これからも風化することなく続けて行くことが大切だと思います。

暑い、暑い夏の事業は大変ですが、一人では出来ないことも「相互扶助の精神」で造り上げていくことから「喜びを」そして何かを学びましょう。

～船越OB講師講演～



船越正治OB……昭和59年4月入会。平成4年(第24年度)

会長を歴任。

現在、八幡町で株式会社三船経営。

今回の例会は船越OBを招いて『軌跡』という演題で講演をしていただきました。冒頭で石田君より『引力のあるカリスマ』との紹介とおり講演当初より氏の話術と価値観に聞くものが深く引き込まれる内容がありました。『軌跡』という題が示す通り、船越OBのたどられた生き方や考え方をお話しいただいたのですが、幼少の頃から学生時代のエピソード、後に一流企業に就職されて頭角を表しながらも会社を辞め長崎に帰郷するまでの裏側の話も含め面白く聞かせて頂きました。その後会社を起し青年協会へ入会される事になられたのですが、入会当初の心境はあまり芳しい印象では無かったものの、先輩あるいは同年代の会員に触発され、自らが熱く率先して協会の事業に活動していく姿は深く印象に残りました。

した。船越OBは現在に至るまで自身の信念と行動力、人に対する気遣いはいたる所のエピソードにも一貫して感じられ、それが人を引きつける魅力であると思いました。その他にも夫婦円満のコツや『理想の妻』の定義、これから子供に対してのエール、青年協会や現会員に対する提言、或いは10年先の長崎などを船越OB独自の観点で語られ、こちらも強く感銘を受ける内容がありました。船越OBの感性に引き寄せながら終了まで飽く事無く聞かせて頂きましたが誠にありがとうございました。

◀ 夫婦同伴懇親例会 ▶

平成14年7月22日、長崎東映ホテルに於いて夫婦同伴懇親例会が開催された。連休中の青少年育成事業の疲れも見せず、元気よく35名の会員が出席。それと14名の会員の奥様方の出席で一層華やいだ雰囲気となった。例会を奥様方に見て、感じて、協会を理解してもらおうとの趣旨だが、まさに逆父兄参観日か!? 田川会長の挨拶に始まり役員報告・委員会報告

とあり、その中で新人の廣島君の紹介があった。真面目で爽やかな好青年の印象だが、協会に入ってどう染まっていくのか期待しよう(笑)。続いて今回の講師である船越〇Bによる「軌跡」という題目で講演が始まった。氏の49年の生き立ちを会員全員が真剣に耳を傾けていた。豪快で、野武士的な生き様を聞き今後の協会への関わり方や仕事への考え方方が大変参考になった。そして場所を移して立食形式の懇親会が、

奥様方の紹介で幕を開けた。会員や奥様同士が親睦を深めつつ、○×ゲームや誕生者祝いがあり、大いに盛り上がったのである。尚、参加した夫婦は、田川・峰・広瀬・石田・寺本・前田・吉野・松島・山崎・仁藤・吉田・坂上・福島・橋田各夫妻である(入会順)。

奥様方がとても素敵で綺麗だったのは言うまでもない。



出席率(7月度)

役員・監事		総務例会		広 報		研修開発		交 流		地域社会		合 計	
10/10	100%	6/8	75%	5/11	45%	4/10	40%	5/12	41%	5/12	41%	35/63	56%

～青少年育成事業「こどもスマイル☆海★伊王島!!」～

去る7月20日から1泊2日で伊王島に於いて青少年育成事業「こどもスマイル☆海★伊王島!!」が行われた。

前日までの雨で天候が心配されたが、当日は曇り空でスタートした。

復元出島のヘトル部屋に、公募参加の小学3年生から6年生までの男女48人が父兄に連れられて予定より15分繰り上げての9時より受付を開始した。10時までに受付を終了し、1班・寺本、2班・泉、3班・松島、4班・三瀬の各班長による説明等の後、協力団体の運輸局企画調整官 篠田正昭氏よりご挨拶を戴いた。さらに、国民の休日「海の日」にちなんだ海の知識と海事訓練として、長崎県水難救済会副会長 福田一幹氏より心肺蘇生法の指導があり、初めての体験に子供達の気持ちが少しづつ高まってきているのがはっきりと解かった。

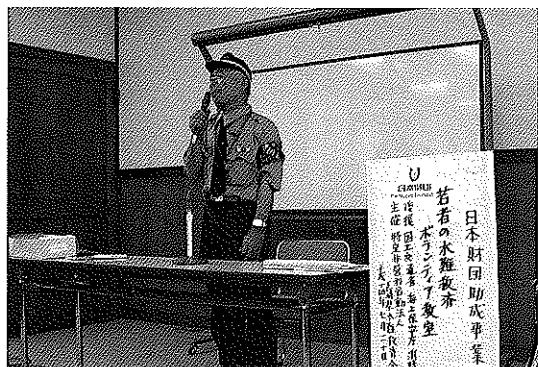
ヘトル部屋を後にし、一同、大波止桟橋へ向かい、ここで父兄とは明日の昼までしばしのお別れ。

トムソーサの冒険とまではいかないが、すでに気持ちは伊王島！しかし、乗船したのは「ぐらばあ」。

伊王島に行く前に、これまた長崎港を1時間30分か



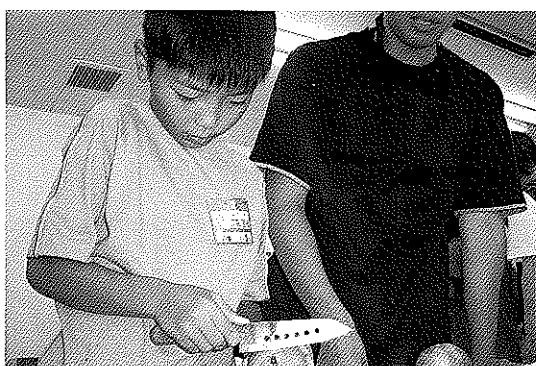
運輸局の篠田正昭氏



県水難救済会の福田一幹氏



伊王島の防波堤でのアジ子釣り 魚を初めて触りました



初めての包丁 見るからにあぶなっかしいなあ～



夕食定番のカレーライス 皆の手作りはおいしかった？

けて遊覧、船内での抽選会・海洋少年団による手旗信号・消防艇のカラー放水等が行われた海上パレードを初めて体験。長崎市内や、ペーロン競争も海から見た。

一旦大波止に戻り、ターミナル2階で昼食、慣れてきたのか、ちょっと騒ぎ過ぎた。13時55分発の「コバルトクイーン」に乗船し、いよいよ伊王島へ。子供達の元気は絶好調。



大当たり～

伊王島に上陸後、本日の宿舎である「セントロ・クートラル」まで徒歩5分。大部屋に男女別れて入室後、研修室においてスケジュールの確認、自己紹介をしてやはり初体験の手作り名刺の「名刺交換」を、少し照れながら行った。気分はもう「大人」で、初めて出会う新しいお友達ができた。

《釣り組》と《調理組》とに別れて交替でそれを体験し、約300匹のアジを釣り、生きた魚を初めて触ったり、包丁を使ったりと新しい経験を着々としていった。今夜の夕食はカレーライス・焼き肉・ソーセージ・エビそして自分たちで釣った新鮮な「アジ子揚げ」、…食べきれなかった。

夕食後は、班別で「スイカ割り大会」をし、残念なことに曇り空だったので、研修室で野田先生のおもしろい天体のお話を聞いた。少し眠たい子も何人か…。

その後、シャワーを浴びて消灯。修学旅行感覚で、大騒ぎになるかと思いきや意外にも、あっさりと沈没。

翌朝6時起床、6時30分ラジオ体操、朝食を取っていよいよ砂浜へ。海岸沿いを歩きながらゴミ拾い。今から始まる海水浴シーズンの伊王島に貢献した。

砂浜に到着後、カヌーインストラクターの伊王島町観光産業振興課 係長 村山康博氏より説明があり、2班に別れてカヌーと磯遊び。磯にはいろんな生物を発見した。カヌー体験は子供達以上に楽しんでいた会員の姿も。

名残惜しく浜辺を後にし、宿舎に戻りホースシャワー



南斗六星ってどこかな？



カヌー初体験 楽しかった

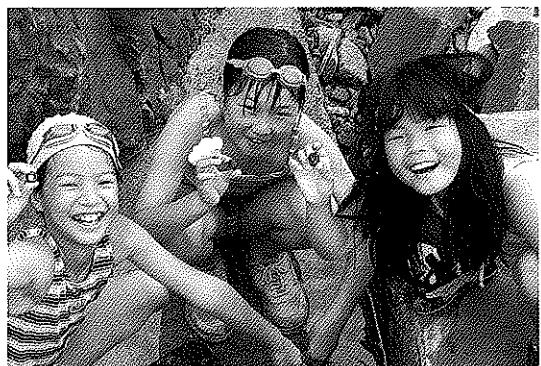
で海水を落とし、昼食のソーメン・肉ジャガ。12時30分に宿舎を後にし、桟橋へ向かう足取りは、疲労感と満足感で一杯だった。

父兄が出迎える大波止に到着後、解散式で子供達の代表が「今回の経験を生かし立派な大人になりたい。ありがとう。」と発表し、その言葉を胸に刻み、会員にとっても貴重な体験をさせてもらった。

「ありがとう」は我々が子供達に送る言葉だったと感じた。



やっぱりゴミは多かった。きれいになりましたよ！



磯には理科で学習した生き物がいっぱい

『祝還暦』の感想

日時：平成14年7月13日（土）

場所：料亭 松 亭

(社)長崎青年協会が創立34年になるだろうか、還暦者のメンバーを含めて、OB会員が108名で構成されている。

今日は、旗揚げをした方々の『祝還暦』である。

副会長の久保先輩の挨拶で、会が開催。重々しい空気ではあるが、赤いチャンチャンコと、赤い帽子の野村先輩、三浦先輩、池本先輩、飛永先輩、鳥居先輩、浜崎先輩の6名がなかなか可愛らしい。平野先輩は事情があり、残念ではあるが欠席だ。

OB会へ入会して、先輩の方々と酒宴の席を御一緒する事は、何よりも喜ばしい限りである。それぞれ、円卓を囲み、思い思いの話は尽きない。

最後に、還暦者からのご挨拶を賜る。

三浦会長は、挨拶の中で、口をグッとこらえられ、天を見られ、視線がみんなの方へ。

「ありがとう！！青年協会の多くの仲間達」という。…… 感動いたしました。

今日のお祝いの席を開催出来たことを生涯忘れる事はないだろう。(取材協力記事 原喜一郎OB)



協会OBの金子知事も嬉しそうです

キャンドル作成体験記事

数年前から純粋に「平和を願う心を形にしよう」と、同じ被爆地広島で行われていた「平和の灯火」を長崎でも行っている。詳細は協会担当の野島直前会長からの記事で紹介するが取材に行って、「この子供たちや、自分の子供たちに戦争をさせてはいけない、絶対に！」と言うことだけを一番感じた。

平和の灯事業

そもそも、888事業として始まりました。これは、原爆記念日の前日の八月八日八時に平和の祈りを込めて、一斉に市内の電気を消して、黙祷し一分後に点灯すると言う事業を行っていました。これが今では、平和学習の一環として、主に市内の小学校にも参加を呼び掛け、平和の祈りを込めキャンドルを(32校、約4,500個)手作りしてもらっています。これを平和の泉周辺に灯して平和を祈る。こういった事業展開を行っております。現在10団体が参加する実行委員会では、事前のキャンドル作成の指導、又、事業当日のスタッフとして活動しています。長崎は原子爆弾が落とされた世界でも特別な町です。この平和の灯事業で恒久平和の願いを込め、キャンドルを灯し平和の光を全地球に向けて発信したいと思います…平和の願いが叶うまで。



城山小学校での作業風景

『2002ながさきみなとまつり』

今年も「みなとまつり」が開催され無事終了しました。ご協力頂いた会員の皆様には深く感謝申し上げます。安全面をはじめとしてイベントへの来場者の反応など色々なことを懸念しながら開催日を迎ましたが、26日（金）には気象台にも問い合わせた結果、台風接近に伴い設営・来場者の安全性を十分に考慮し中止せざるを得ませんでした。昨今、夏祭りの安全に対して警察をはじめマスコミ等も関心が高く「何かあってからでは遅い」、今後の開催へ響いてくる為中止を苦渋のええ判断しました。また、中止に伴い商

工會議所の職員の方が電話苦情等々の対応に苦労されていたことと本年度活躍された永田幹事長 片江統括責任者を協会の後輩として誇りに思うことをお伝えし、無事終了したことに感謝します。

《警備》

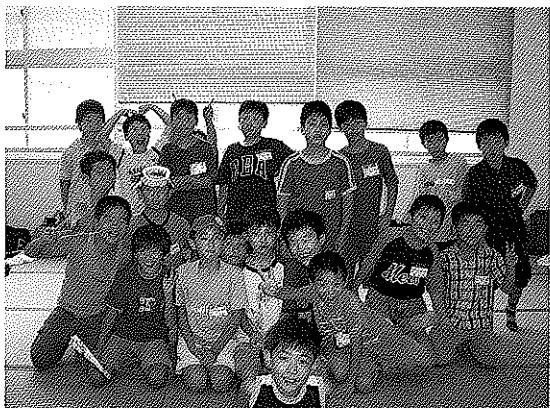
20時50分より20分間、5000発の花火見物のため、松ヶ枝埠頭には19時30分ごろから観客が続々と来場しました。協会の警備エリアは埠頭の北側エプロンと歩道橋、退場の際の混雑が懸念されていたが、順調に流れ一安心。



《清掃》

協会スタッフ約25名は、割り当てられた地域をゴミの種類ごとに分けて一気に拾い集め芝生の会場は一瞬にして綺麗になった。皆様お疲れさまでした。

～アルバムのページ～



男子部屋



女子部屋



磯遊び



カヌー体験



弄ばれる三瀬班長



少し自慢の肉体美?



頑張ろ～う!



夫婦同伴例会 ○×クイズ

今月の誕生者

- ☆桑岡 隆太君 昭和39年8月21日生(平成6年7月入会・在籍8年)
 ☆福島 広之君 昭和38年8月18日生(平成10年4月入会・在籍4年)
 ☆馬渡 鉄洋君 昭和42年8月11日生(平成11年10月入会・在籍3年)
 ☆玉川 雅彦君 昭和39年8月20日生(平成12年1月入会・在籍2年)
 ☆橋田 徳之君 昭和40年8月21日生(平成13年4月入会・在籍1年)

待望の新人 来たる

ひろ 嶋 康 弘 君 (研修開発委員会付)

昭和49年12月1日生 27歳 O型 独身
仕事: (有)トータルクリエイトサービス (本原町)

厨房機器販売・内装工事・害虫駆除は

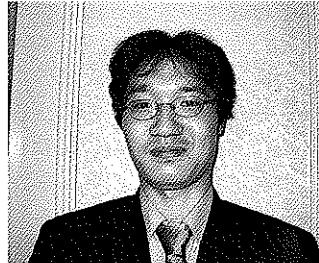
当店へおまかせ下さい

趣味: パソコン、パチスロ

一言: 元気が取柄です

第一推薦者: 宮崎健太君

第二推薦者: 酒井 真君



B
A
B
Y
誕
生

総務例会委員会 野口富士男君

H14年6月24日 長女 来晴(こはる)ちゃん 誕生

身長 50.5cm 体重 3,114g

父親からの一言~~~ 明るく健やかで優しい子に育ってください。



地域社会委員会 山口雄一郎君

H14年6月26日 次男 総大(みちひろ)君 誕生

身長 50cm 体重 3,200g

父親からの一言~~~ 元気にすくすく健康に育ってください。

9月の行事予定

5日(木) 理事会 17日(火) 理事会

24日(火) 定時例会(プリックホール)

9月度事務局清掃担当委員会

総務例会委員会

二次懇親会担当委員会

役員

編集
後記

「百害あって一利なし」 そうなのだろうか。『世界禁煙デー(5/31)』から禁煙をはじめ、やっと2ヶ月が経った。今までに幾度かトライした禁煙、愛煙者の言い分も、禁煙者の言い分も、身にしみるようにわかる。好きな人には最高に美味しいもの。私は今でも吸いたい。しかし、その匂いのする車はたまらないほど嫌だ。とても矛盾してる。好きな人は吸う。嫌いな人は吸わない。迷ってる人は迷い続けよう。答えが出ない。ただ、道に落ちているタバコの吸殻は、少なくとも吸わない人が捨てたものではない。(BY COMEX)

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純季
福島広之 中尾仁 岩口信美 桂雄剛 片岡浩一 橋田徳之

印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231